

新しい年も市民の願い、実現に全力!

日本共産党福岡市議団

高島宗一郎市長就任後、初の12月市議会、日本共産党は市長の基本姿勢を問う質問を行いました。また、新年度の予算編成にむけて、暮らし・福祉・地域経済・環境などみなさんの願いをこめた235項目の要望(右写真)をおこないました。新しい年も全力でがんばります。



高島市長に
新年度予算要望

詳しくは <http://www.jcp-fukuoka.jp/act/101228.html>

12月議会報告



質問する熊谷市議

日本共産党の熊谷あつ子市議は、国民健康保険料について質問しました。「歴代市長の中で引き下げを公約して当選したのはあなたしかない」「公約通り引き下げをすべき」として、1月の国保運営協議会に引き下げ

を諮問すべきと迫りました。市長は「今の保険料は(中所得者層に重い)」と述べ、諮問や引き下げは「十分に検討したい」と答えました。また、熊谷市議は、国保証のとりあげをやめるよう市長に求めました。

国保料

市長公約どおり 引き下げを



市長「十分検討したい」

市長がこども病院問題で人工島移転計画を「ゼロベースで見直す」と掲げたことに対し、日本共産党の中山いくみ市議は「市民は今度こそ移転計画が止まることを期待している」と述べ、検証の方法や内容について問

いました。中山市議は、高島市長に、患者家族や小児科医、市民の代表などによる徹底した検証を求めるとともに、病院の建て替えを遅らせないために「現在地での建て替え計画」を並行して進めるよう求めました。

高島市長は「市民の疑念を解消するため、検証には客観性・透明性が求められる。有識者を入れた検証委員会で進める。その上で場所は自分が判断する。」との答弁を行いました。

中山市議は「場所は現在地が最適。こどもの命を守るためには、どうしたら現在地で建て替えられるかを検討すべきだ」と指摘しました。

高島市長に迫りました

こども病院

市民参加での徹底検証と 現在地での建て替えを

質問する中山市議



ぞくぞく実現へ

この質問と予算要望のあと、高島市長は、国保料の引き下げを国保運営協議会に諮問。こども病院の移転問題でも、検証委員会に患者家族や市民代表を入れることを表明しました。

市民の運動と共産党の論戦が市政を動かしています。



ウラ面もごらんください

ご意見・ご感想は092-711-4734



市長をただすひえじま市議

日本共産党のひえじま俊和市議は、認知症高齢者の介護施設であるグループホームについて、施設への聞き取りをもとに質疑。グループホームが不足している現状を指摘し、施設整備と運営費への補助金などの対策を求めました。また、生活保護の老齢加算復活を国に求めるよう要求しました。

認知症介護施設

グループホーム 整備・人員に補助を

市長「必要な事業。進める」

高島市長は人工島事業の推進を掲げています。中山市議はいかにこの事業が破綻しているかを歴史を追って示し、「推進してきた市長は必ず選挙で落選してきた」と指摘し、土地が等と答えました。

売れない実態を示し「泥沼の事業は、やめて欲しいという市民の願いにこたえるべきだ」と求めました。高島市長は「福岡市の発展にとって必要な事業。進める。」と答えました。

人工島

市民の願いにこたえ 事業の中止を



12月議会で論戦する日本共産党の宮本秀国(上)、倉元たつお(中)、星野みえ子(下)の各市議。



日本共産党演説会へあなたも

- 小池晃・党政策委員長が話します
- 2月6日(日) 14時〜福岡市民会館
- 党福岡市議・予定候補せいぞろい

子宮頸がん ワクチン助成

「きっちり対応したい」との 市長答弁ひきだす 全国に報道



また、日本共産党の中山いくみ私議が経済効果の高い住宅リフォームへの助成や、保育所建設など身近な公共事業で地域を元気にするよう求めたのに対し、市長は具体的にどう取り組むか、示しませんでした。

住宅リフォーム助成で地域を元気に

学校の教室温度が文科省の基準をこえている事態をただと、市長は「望ましくない」としつつ、「温度調査の結果を見て教育委員会と協議したい」と答弁しました。特養老人ホーム増設の要求には市長公約の「従来計画の2倍」とは答えませんでした。

教室冷暖房、特養ホーム増設せまる

12月市議会で、日本共産党の熊谷あつ子市議は子宮頸がんワクチンの公費助成を市長に迫りました。市長から、「市としても事業内容の検討をすすめている。きっちり対応していきたい」との答弁を引き出し、時事通信で全国に配信されました。

12月議会に出された請願

件名	請願者
後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書議決について	福岡市社会保障推進協議会
最低保障年金制度の制定を求める意見書議決について	福岡市社会保障推進協議会
高齢者の生活実態に見合う年金引き上げ実現を求める意見書議決について	福岡市社会保障推進協議会
知的障がい者入所施設の利用者が安心して暮らせる制度充実を求める意見書議決について	福岡県知的障害者施設保護者会連合会
少人数学級の全面実施について	ふくおか教育を考える会
保育・子育て支援施策の充実について	豊かな保育を求めて公的保育の拡充をめざす福岡市実行委員会

12月議会で採択された意見書

- 切れ目ない中小企業支援及び金融支援を求める意見書
- TPP 協定への対応に関する意見書 (以上全会一致で採択)
- 介護保険の利用者負担や保険料の大幅値上げと介護サービス削減に反対する意見書 (採択。賛成=共・自・公・み・民・ネ・社・福、反対=平)

定数の削減など

今年4月の市議選から定数が1削減。南区・早良区が各1減、西区が1増で総定数は62に。日本共産党は住民の多様な意思が反映できず行政チェック機能も低下、大政党による議席独占の危険を指摘し反対。経費削減をいうなら①海外視察廃止②議員報酬の1割カットを提案しました。

12月議会での主な議案への賛否

会派名	日本共産党	自由民主党	公明党	民主市民クラブ	みらい福岡	ネットワーク	社民市政クラブ	福政市民クラブ
主な議案 賛成=○ 反対=●								
市職員給与条例改定案(市職員の給与削減等)	●	○	○	○	○	○	●	○
人工島中央公園指定管理者(西鉄関連企業)	●	○	○	○	○	○	○	○
駐輪場指定管理者(シルバー人材センター)	○	○	○	○	○	○	○	○
駐輪場指定管理者(西鉄関連企業)	●	○	○	○	○	○	○	○